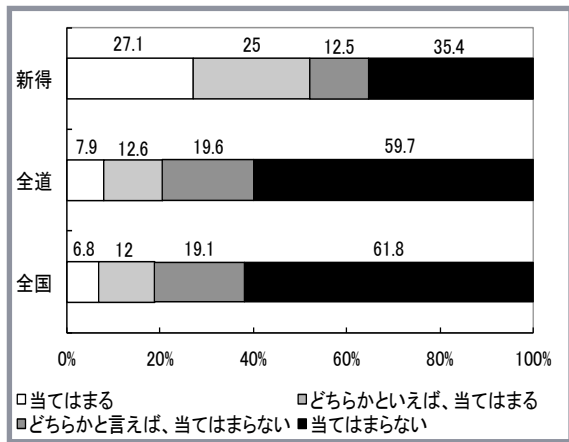
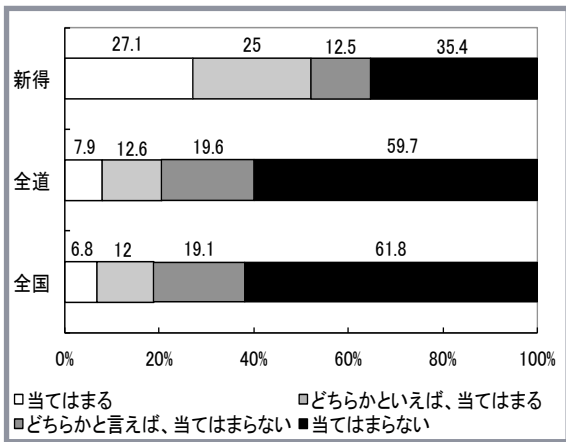
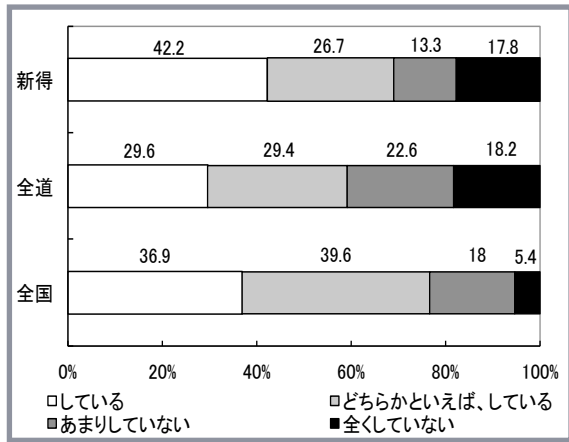
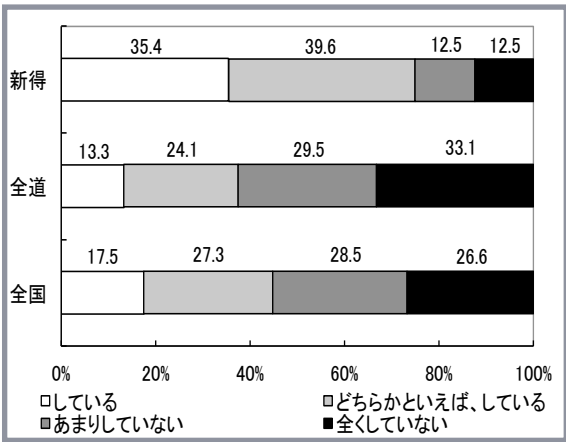
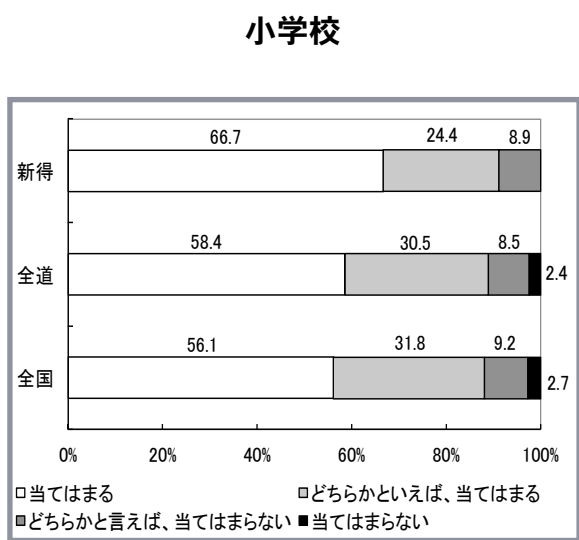
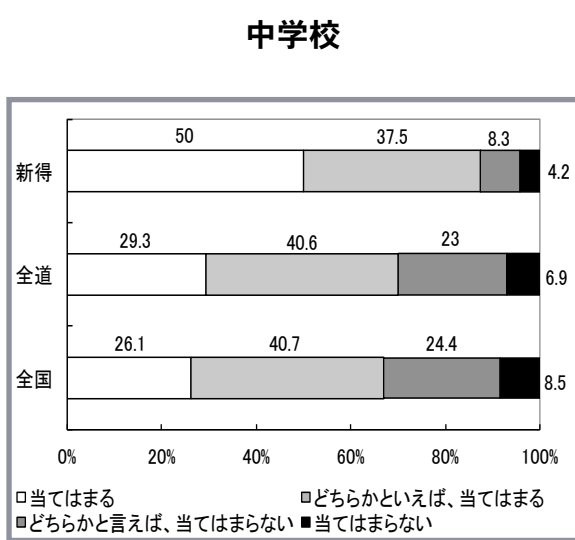




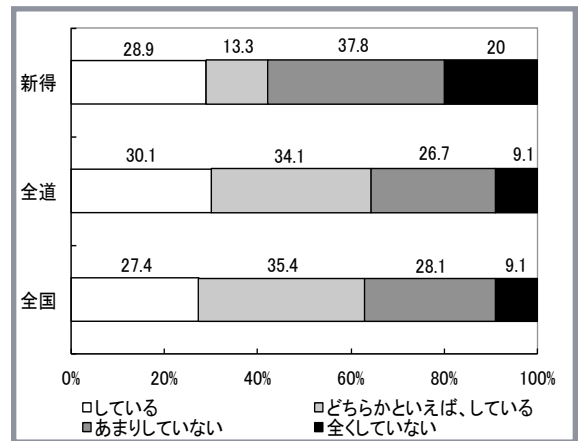
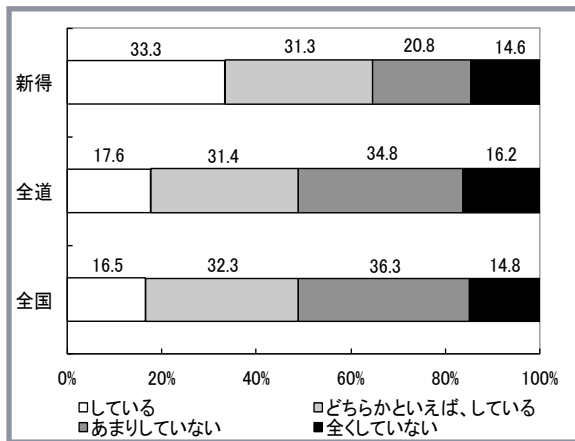
○新聞を読んでいますか？



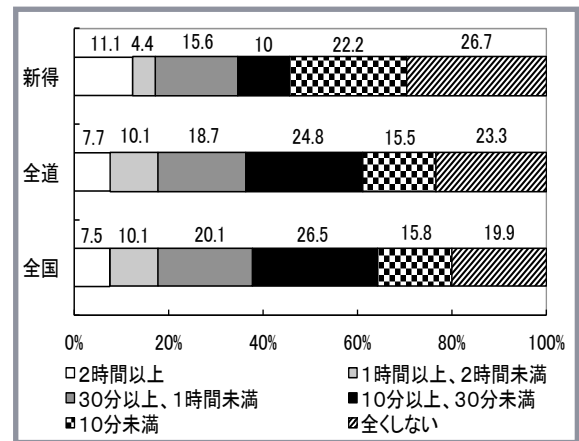
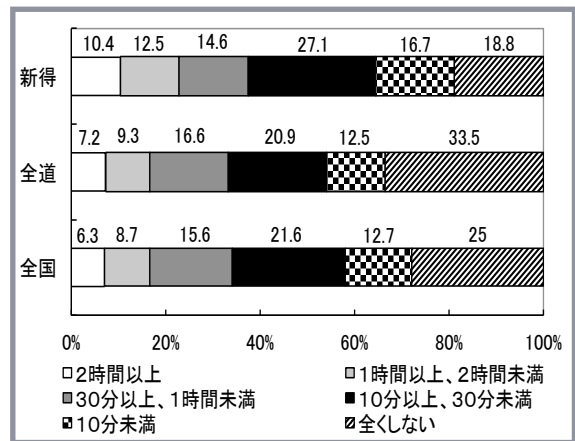
○今住んでいる地域の行事に参加していますか？



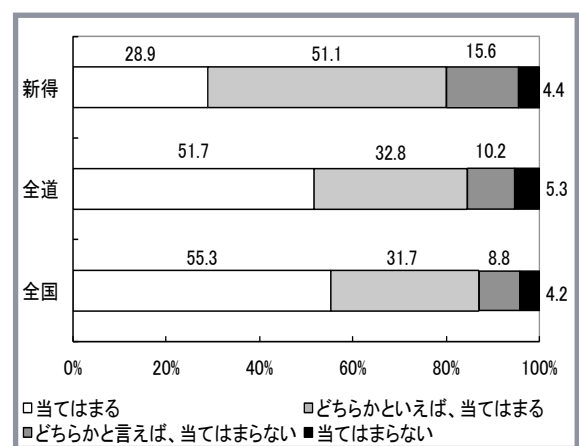
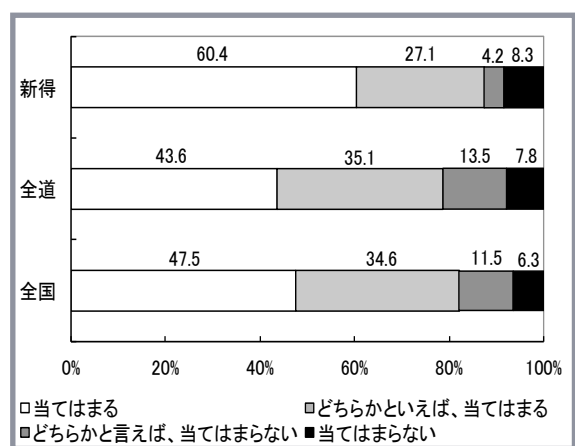
○理科の授業の内容はよくわかりますか？



○家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか？



○学校の授業以外で1日どれくらいの時間、読書をしていますか？



○学校に行くのは楽しいと思いますか？

※小中学校それぞれ 87 の質問があり、その中から特徴的な結果を紹介しています。

学習状況調査の分析

小学校では、全国、全道平均と比べ、「理科の授業の内容はよくわかる」「普段、1日当たり2時間以上読書をする」と回答した児童が多くなっています。一方、「国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している」「算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないかを考える」と回答した児童が少ないなどの課題が見られ、また、『家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか』『学校に行くのは楽しいと思いますか』の回答結果からは、回答への自信のなさや自己肯定感の不足が感じられます。

中学校では、全国、全道平均と比べ、「国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している」「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」「学校に行くのは楽しい」と回答した生徒が多くなっています。一方「家で、自分で計画を立てて勉強をまったくしない」「学校に行くのは楽しくない」と回答した児童もいました。

また、小中学校を通じて「新聞を読んでいる」「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した児童生徒が全国、全道と比べ非常に多くなっており、地域や社会に興味のある子どもが多いことがわかります。

課題解決に向けて

町教育委員会では、独自の分析及び、道教育委員会による分析の結果を踏まえ、①成功体験、ボランティア体験などを通した自己肯定感、自信・自尊心の育成、②自分の生活と学習の連携を深め、学びの良さや意義を実感させる授業の工夫、③友達と助け合ったり、教えあったりするなど、学び合う授業の工夫の3つの取り組みを各学校と連携して実施し、学力向上とともに、より良い授業を目指し改善を図っていきます。

より良い授業を目指して

新得町では、全町教育の理念のもと、児童生徒が興味・関心・学習意欲を高め、自発的・能動的な学習によって得られる「真の学力（あと伸びする学力）」の育成を推進しています。

変化の激しいこれからの社会を生きるため、確かな学力、豊かな心、健康な体など、「知・徳・体」をバランスよく育てた生きる力が大切であり、良い部分は伸ばし、課題の部分はしっかりと改善していける教育の場を目指していくため、今後も、学校を核として、保護者の参画や豊富な地域人材を活かした指導の工夫を図り、学習の基盤である学級の落ち着きや安定を図っていきます。